

安全データシート

作成日 2023年12月14日
改訂日 2024年6月7日

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称: フレンズプライマー
整理番号: 20240607FK
供給者の会社名称: シンク化学工業株式会社
住所: 〒481-0041 愛知県北名古屋市九之坪鴨田 95
電話番号: 0568-23-5551
FAX 番号: 0568-23-3169
緊急連絡先: 0568-23-5551
推奨用途: プライマー
使用上の制限: 業務用



2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

【物理化学的危険性】

引火性液体 区分 2

【健康に対する有害性】

急性毒性(吸入) 区分 4

皮膚腐食性/刺激性 区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分 2

呼吸器感作性 区分 1

皮膚感作性 区分 1

発がん性 区分 2

生殖毒性 区分 1A

生殖毒性・授乳に対する又は授乳を介した影響 追加区分

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分 1(呼吸器、肝臓、中枢神経系、腎臓)、
区分 3(麻酔作用)

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分 1(呼吸器、神経系、中枢神経系、腎臓)、
区分 2(聴覚器)

誤えん有害性 区分 1

【環境有害性】

水生環境有害性 短期(急性) 区分 2

水生環境有害性 長期(慢性) 区分 2

上記で記載がない危険有害性クラスは分類できない又は区分に該当しないである。

GHS ラベル要素

【絵表示又はシンボル】



【注意喚起語】

危険

【危険有害性情報】

- ・ 引火性の高い液体及び蒸気
- ・ 吸入すると有害
- ・ 皮膚刺激

- ・ 強い眼刺激
- ・ 吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ
- ・ アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- ・ 発がんのおそれの疑い
- ・ 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
- ・ 授乳中の子に害を及ぼすおそれ
- ・ 呼吸器、肝臓、中枢神経系、腎臓の障害
- ・ 眠気又はめまいのおそれ
- ・ 長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器、神経系、中枢神経系、腎臓の障害
- ・ 長期にわたる、又は反復ばく露による聴覚器の障害のおそれ
- ・ 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
- ・ 長期継続的影響によって水生生物に毒性

【注意書き】

[安全対策]

- ・ 使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・ すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・ 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
- ・ この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・ 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
- ・ 容器を密閉しておくこと。
- ・ 容器を接地しアースをとること。
- ・ 防爆型の【電気機器/換気装置/照明機器】を使用すること。
- ・ 火花を発生させない工具を使用すること。
- ・ 静電気放電に対する措置を講ずること。
- ・ 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- ・ 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- ・ 【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること。
- ・ 取扱い後は手などをよく洗うこと。
- ・ 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- ・ 妊娠中及び授乳期中は接触を避けること。
- ・ 環境への放出を避けること。

[応急措置]

- ・ 皮膚(又は髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。
- ・ 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合:医師の診察/手当を受けること。
- ・ 汚染された衣類を直ちにすべて脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- ・ 吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・ 気分が悪いときは医師に連絡すること。
- ・ 呼吸に関する症状が出た場合:医師に連絡すること。
- ・ 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・ 眼の刺激が続く場合:医師の診察/手当を受けること。
- ・ ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師に連絡すること。
- ・ 飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡すること。
- ・ 無理に吐かせないこと。
- ・ 漏出物を回収すること。

[保管]

- ・ 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
- ・ 容器を密閉しておくこと。
- ・ 施錠して保管すること。

[廃棄]

- ・ 内容物/容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託して廃棄すること。

【GHS分類に関係しない又はGHSで扱われない他の危険有害性】

水と反応して分解し、二酸化炭素を発生する。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名 (別名)	ウレタン プレポリマー	メチレンビス(4,1-フェニレン) =ジイソシアネート (MDI)	α -(イソシアナトベンジル)- ω -(イソシアナトフェニル) ポリ[(イソシアナトフェニル) メチレン]
含有量	15~25%	4.4%	6.3%
CAS No.	—	101-68-8	9016-87-9
官報公示整理番号 (化審法)	7-820	4-118	7-872

化学名又は一般名	キシレン (異性体混合物)	エチルベンゼン	トルエン	酢酸エチル
含有量	16%	14%	27%	10~20%
CAS No.	1330-20-7	100-41-4	108-88-3	141-78-6
官報公示整理番号 (化審法)	3-3	3-28 3-60	3-2	2-726

※上記記載の含有量は代表値ですので、規格を保証するものではありません。

含有量が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます。

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸に関する症状が出た場合、及び気分が悪い時は、直ちに医師に連絡し、診断・手当てを受けること。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類を脱ぐこと。
多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激があれば医師の診断・手当てを受けること。
汚染された作業衣は再使用する前に洗濯すること。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が持続する場合は、医師の診断・手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
気分が悪い時は、医師の診断・手当てを受けること。
被災者に意識がない場合は口から何も与えてはならない。
- 急性症状及び遅発性症状
の最も重要な徴候症状 : 吸入 ; 咽頭痛、咳、めまい、頭痛、嗜眠、吐き気
皮膚 ; 発赤、皮膚の乾燥
眼 ; 充血、痛み
- 応急措置をする者の保護 : 適切な保護具を着用すること。
に必要な注意事項
- 医師に対する特別な注意
事項 : 症状に応じた治療を行う。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 粉末ドライケミカル、二酸化炭素、泡消火剤、乾燥砂、大量の噴霧水。
- 使ってはならない消火剤 : 棒状水
- 火災時の特有の危険有害性 : 加熱により容器が爆発するおそれがある。
火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガスを発生するおそれがある。
極めて燃え易い、熱、火花、火災で容易に発火する。
引火性の高い液体及び蒸気。
- 特有の消火方法 : 粉末ドライケミカル又は二酸化炭素で初期消火にあたる。
火災が広がった時は大量の噴霧水で消火する。
消火活動は可能な限り風上から行う。
着火していないドラム設備などに放水し、延焼・加熱防止や破裂の防止に努める。
- 消火を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 関係者以外の立ち入りを禁止する。
作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。
- 環境に対する注意事項 : 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 少量の場合には乾燥砂、土、おがくず、ウエスなどに吸収させて、密閉できる空容器に回収する。
大量の場合にはこぼれた液が広がらないように、砂、土、おがくず等で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。
中和剤を散布して中和し、土砂等に吸収させて除去した後、こぼれた場所を十分に水洗する。
中和剤の例 水／炭酸ナトリウム／液体洗剤＝90～95／5～10／0.2～2(重量比)
- 二次災害の防止策 : 付近の着火源となるものを速やかに取除く。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策 : 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
換気の良い場所で使用すること。
- 安全取扱い注意事項 : すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わない。
緊急時に備えて、十分な数の保護具や十分な量の中和剤を常備する。
容器の取扱いは転倒・落下に注意する。
- 衛生対策 : 取扱い後はよく手を洗う。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。
- 保管
- 保管条件 : 直射日光を避け、火気・熱源から遠ざけて保管する。
混触危険物質から離して保管する。
容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。
施錠して保管すること。
- 容器包装材料 : 消防法及び国際輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

- 管理濃度 : キシレン・・・50ppm
エチルベンゼン・・・20ppm
トルエン・・・50ppm
酢酸エチル・・・200ppm
- 許容濃度 : ポリメチレンポリフェニル=ポリイソシアネート

	日本産業衛生学会	0.05mg/m ³ (OEL-M)
	メチレンビス(4,1 フェニレン)=ジイソシアネートとして	
	日本産業衛生学会	0.05mg/m ³ (OEL-M)
	ACGIH	0.005ppm(TLV-TWA)
	キシレン(異性混合物)	
	日本産業衛生学会(2020年版)	50ppm 217mg/m ³
	ACGIH(2020年版)	100ppm(TLV-TWA) 150ppm(TLV-STEL)
	エチルベンゼン	
	日本産業衛生学会(2020年版)	20ppm 87mg/m ³ (皮)
	ACGIH(2020年版)	20ppm(TLV-TWA)
	トルエン	
	日本産業衛生学会(2020年版)	50ppm 188mg/m ³ (皮)
	ACGIH(2020年版)	20ppm(TLV-TWA)
	酢酸エチル	
	日本産業衛生学会(2019年版)	200ppm 720mg/m ³
	ACGIH(2019年版)	200ppm 1440mg/m ³ (TLV-TWA)
設備対策	： 密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。 取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。	
保護具		
呼吸器の保護具	： 空気呼吸器、送気式マスク、防毒マスク	
手の保護具	： 保護手袋(不浸透性)	
目の保護具	： 保護眼鏡、ゴーグル	
皮膚及び身体の保護具	： 安全帽、保護服、保護前掛け、保護長靴(不浸透性)	

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	： 液体
色	： 茶褐色
臭い	： 芳香臭
沸点又は初留点及び沸点範囲	： 酢酸エチルとして 77℃
可燃性	： 引火性
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	： データなし
引火点	： -4℃
自然発火点	： データなし
分解温度	： データなし
pH	： データなし
動粘性率	： <20 mm ² /s 40℃
溶解度	： トルエン、アセトン、酢酸エチル等の有機溶剤に可溶。水と反応する。
蒸気圧	： データなし
密度及び/又は相対密度	： 0.96(25℃)
相対ガス密度	： データなし
粒子特性	： 非該当

10. 安定性及び反応性

反応性	： データなし
化学的安定性	： 通常の条件下では安定である。
危険有害反応可能性	： 水と反応して炭酸ガスを発生する。この反応が密閉容器内で起こると、容器が膨れ、場合によっては破裂することもある。 酸化剤と反応し、火災をもたらす可能性がある。
避けるべき条件	： 高温、湿気
混触危険物質	： 酸化剤、アルコール、アミン、水等の活性水素化合物、塩基等

危険有害な分解生成物 : 燃焼により、一酸化炭素、二酸化炭素などを発生する。

11. 有害性情報

【製品情報】

急性毒性	経口	: LD50	>2,000mg/kg(計算値)	区分に該当しない
	経皮	: LD50	>2,000mg/kg(計算値)	区分に該当しない
	吸入(蒸気)	: LC50	4,636ppm(計算値)	区分 4
皮膚腐食性/刺激性		: 区分 2		
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性		: 区分 2		
呼吸器感作性		: 区分 1		
皮膚感作性		: 区分 1		
生殖細胞変異原性		: 分類できない		
発がん性		: 区分 2		
生殖毒性		: 区分 1A		
			追加区分:授乳に対する又は授乳を介した影響	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		: 区分 1(呼吸器、肝臓、中枢神経系、腎臓)		
			区分 3(麻酔作用)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		: 区分 1(呼吸器、神経系、中枢神経系、腎臓)、区分 2(聴覚器)		
誤えん有害性		: 区分 1		

MDI/PMDI として

急性毒性	経口	: ラット LD50	31,600mg/kg	区分に該当しない
	経皮	: LD50	>5,000mg/kg	区分に該当しない
	吸入(ミスト、粉じん)	: LC50	1.5 mg/L	区分 4
皮膚腐食性/刺激性		: 区分 2	皮膚刺激性	
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性		: 区分 2B	眼に刺激性	
呼吸器感作性		: 区分 1	呼吸による感作発生の可能性	
皮膚感作性		: 区分 1	皮膚に触れると感作を起こすことがある	
生殖細胞変異原性		: 区分に該当しない		
発がん性		: 区分に該当しない		
生殖毒性		: 区分に該当しない		
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		: 区分 3(気道刺激性)		
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		: 区分に該当しない		
誤えん有害性		: 区分に該当しない		

酢酸エチルとして

急性毒性	経口	: ラット LD50	5,600mg/kg	区分に該当しない
	経皮	: ラット LD50	>18,000mg/kg	区分に該当しない
	吸入 vapor	: ラット LC50	14,640ppm/4hr	区分 4
皮膚腐食性/刺激性		: 区分に該当しない		
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性		: 区分 2B	ラビット 一過性の刺激性, 7 日までに全ての反応は消失 (ECETOC TR48, 1998)	
呼吸器感作性		: 分類できない		
皮膚感作性		: 区分に該当しない		
生殖細胞変異原性		: 区分に該当しない		
発がん性		: 分類できない		
生殖毒性		: 分類できない		
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		: 区分 3(気道刺激性、麻酔作用)		
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		: 区分に該当しない		
誤えん有害性		: 分類できない		

トルエンとして

急性毒性	経口	: ラット LD50	5,000-7,300mg/kg	区分に該当しない
------	----	------------	------------------	----------

経皮	: ラット LD50	12,000mg/kg	区分に該当しない
吸入 vapor	: ラット LC50	3319-8800ppm/4hr	区分 4
皮膚腐食性/刺激性	: 区分 2	ラビット 中等度の刺激性 (EU-RAR, 2003)	
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 区分 2B	ラビット 軽度の刺激性 (EU-RAR, 2003)	
呼吸器感作性	: 分類できない		
皮膚感作性	: 分類できない		
生殖細胞変異原性	: 区分に該当しない		
発がん性	: 分類できない		
生殖毒性	: 区分 1A		
生殖毒性・授乳に対する又は授乳を介した影響		追加区分	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 区分 1(中枢神経系)		区分 3(麻酔作用、気道刺激性)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 区分 1(中枢神経系、腎臓)		
誤えん有害性	: 区分 1		

キシレン(異性体混合物)として

急性毒性 経口	: ラット LD50	3,500-8,800mg/kg	区分に該当しない
経皮	: ラビット LD50	1,700mg/kg	区分 4
吸入 vapor	: ラット LC50	6,350-6,700ppm	区分 4
皮膚腐食性/刺激性	: 区分 2	ラビット 紅斑、浮腫、壊死 (NITE 有害性評価書, 2008)	
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 区分 2	ラビット 軽度から中等度の刺激性 (NITE 有害性評価書, 2008)	
呼吸器感作性	: 分類できない		
皮膚感作性	: 分類できない		
生殖細胞変異原性	: 分類できない		
発がん性	: 分類できない		
生殖毒性	: 区分 2		
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 区分 1(呼吸器、肝臓、中枢神経系、腎臓)、区分 3(麻酔作用)		
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 区分 1(呼吸器、神経系)		
誤えん有害性	: 区分 1		

エチルベンゼンとして

急性毒性 経口	: ラット LD50	3,500mg/kg	区分に該当しない
経皮	: ウサギ LD50	>5,000mg/kg	区分に該当しない
吸入 vapor	: ラット LC50	4,000 mg/L	区分 4
皮膚腐食性/刺激性	: 分類できない		
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 区分 2B	ラビット 軽度の刺激性 (EHC 186, 1996)	
呼吸器感作性	: 分類できない		
皮膚感作性	: 分類できない		
生殖細胞変異原性	: 分類できない		
発がん性	: 区分 2		
生殖毒性	: 区分 1B		
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 区分 3(気道刺激性、麻酔作用)		
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 区分 2(聴覚器)		
誤えん有害性	: 区分 1		

12. 環境影響情報

【成分情報】

MDI/PMDIとして

生態毒性	: 水生環境有害性 短期(急性)	: 区分に該当しない
	: 水生環境有害性 長期(慢性)	: 区分に該当しない
残留性・分解性	: データなし	
生体蓄積性	: データなし	
土壤中の移動性	: データなし	

オゾン層への有害性 : 当該物質はモントリオール議定書に列記されていない。

キシレン(異性体混合物)として

生態毒性 : 水生環境有害性 短期(急性) : 区分2
魚類(ニジマス) LC50=3.3mg/L/96hr (NITE 初期リスク評価書, 2005)
水生環境有害性 長期(慢性) : 区分2
残留性・分解性 : 急速分解性なし (BODによる分解度:39% (NITE 初期リスク評価書, 2005))
生体蓄積性 : log Pow=3.16 (PHYSPROP DB, 2005)
土壤中の移動性 : データなし
オゾン層への有害性 : 当該物質はモントリオール議定書に列記されていない。

エチルベンゼンとして

生態毒性 : 水生環境有害性 短期(急性) : 区分1
甲殻類(ベイシユリンブ)の96時間 LC50=0.42mg/L (NITE 初期リスク評価書, 2007)
水生環境有害性 長期(慢性) : 区分2
甲殻類(ネコゼミジンコ)の7日間 NOEC=0.956mg/L (環境省リスク評価第13巻, 2015)
残留性・分解性 : 急速分解性なし (良分解性; 標準法における BOD による分解度 : 0% (通産省公報, 1990))
生体蓄積性 : log Kow=3.15 (PHYSPROP DB, 2005)
土壤中の移動性 : データなし
オゾン層への有害性 : 当該物質はモントリオール議定書に列記されていない。

トルエンとして

生態毒性 : 水生環境有害性 短期(急性) : 区分2
甲殻類(Ceriodaphnia dubia)の48時間 EC50 =3.78mg/L (NITE 初期リスク評価書, 2006)
水生環境有害性 長期(慢性) : 区分3
甲殻類(Ceriodaphnia dubia)の7日間 NOEC = 0.74 mg/L (NITE 初期リスク評価書, 2006)
残留性・分解性 : 良分解性(2週間での BOD による分解度:123%)
生体蓄積性 : 生物蓄積性が低い(log Kow= 2.73)
土壤中の移動性 : データなし
オゾン層への有害性 : 当該物質はモントリオール議定書に列記されていない。

酢酸エチルとして

生態毒性 : 水生環境有害性 短期(急性) : 区分に該当しない
甲殻類(ミジンコ) EC50=262 mg/L/48hr; 魚類(ファットヘッドミノー)
LC50=230mg/L/96hr (環境省リスク評価第10巻, 2012)
水生環境有害性 長期(慢性) : 区分に該当しない
甲殻類(オオミジンコ) NOEC=2.4mg/L/21days (ECETOC TR91, 2003)
水溶解度 : 8 g/100 ml (PHYSPROP_DB, 2009)
残留性・分解性 : データなし
生体蓄積性 : log Pow=0.73 (ICSC, 2014)
土壤中の移動性 : データなし
オゾン層への有害性 : 当該物質はモントリオール議定書に列記されていない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 関係法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託する。

汚染容器及び包装 : 容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する時は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号	: 1866
品名	: 樹脂液
国連分類	: クラス 3(引火性液体類)
容器等級	: II
海洋汚染物質	: 該当
国内規制	
陸上運輸	: 消防法、道路法等に定められている運送方法に従う。
海上運送	: 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送	: 航空法に定められている運送方法に従う。
輸送上の特別な安全対策及び条件	: 火気厳禁。 輸送前に容器の破損、腐食、漏れがないことを確認する。 転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
応急措置指針番号	: 128

15. 適用法令

労働安全衛生法	: 名称等を通知すべき危険物及び有害物 メチレンビス(1,4-フェニレン)=ジイソシアネート、トルエン、キシレン、 エチルベンゼン、酢酸エチル 名称等を表示すべき危険物及び有害物 メチレンビス(1,4-フェニレン)=ジイソシアネート、トルエン、キシレン、 エチルベンゼン、酢酸エチル 皮膚等障害化学物質 メチレンビス(1,4-フェニレン)=ジイソシアネート、トルエン、キシレン α -(イソシアナトベンジル)- ω -(イソシアナトフェニル)ポリ[(イソシアナ トフェニレン)メチレン] 特定化学物質 第2類物質 エチルベンゼン 第2種有機溶剤等 トルエン、キシレン、酢酸エチル 危険物・引火性の物
消防法	: 危険物 第4類第1石油類 非水溶性 危険等級II
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	: 第1種指定化学物質(2023年4月1日以降) メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート(管理番号 448) α -(イソシアナトベンジル)- ω -(イソシアナトフェニル)ポリ[(イソシアナ トフェニレン)メチレン](管理番号 585、※CAS No. 9016-87-9) キシレン(管理番号 80) エチルベンゼン(管理番号 53) トルエン(管理番号 300)
船舶安全法	: 引火性液体類(危規則第2,3条危険物告示別表第1)
航空法	: 引火性液体(施行規則第194条危険物告示別表第1)

16. その他の情報

参考文献	: 原料メーカー、安全データシート 日本化学会、化学防災指針 GHS 国連文書第6版 JIS Z7253(2019年)
------	----------------------------------------------------------------------

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保

証するものではありません。すべての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定して頂くようお願い申し上げます。

また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上でご使用下さい。